

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月27日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目	
環境・体制整備	1		7	適切です。 机や椅子で仕切りを作り、人数に応じて余暇スペースを広く、また常に換気の為窓を開けています。	余暇スペースについて、児童の人数や時間帯によっては狭く感じることがあります。 カーテン等を使い仕切りを作り必要に応じて余暇スペースの確保をおこなっております。 また、感染症対策として一室に多数の児童が一箇所に集まらないよう配慮しています。	
	2		7	国の定める配置基準では、事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	送迎等で職員数が手薄になる時間帯もあり、児童の安全面及び療育の質の確保に不安を感じることもありますが、「一人一人の職員が安全への配慮を心掛け、またより良い支援のため人員増員も検討しております。	
	3		6	1	一部バリアフリー化されていない箇所があります。 トイレ入口に段差があります。	現在はバリアフリー対応の必要はございませんが、今後備えて改善計画を立て、同時に児童の安全への配慮を継続してまいります。 余暇室と療育を行うスペースの境界がわかりにくい環境があるため、仕切りや過ごす環境の整備を進めてまいります。
	4		7		日々の清掃、整理整頓により心地よい空間作りを心がけています。使用した道具や教材は毎日消毒しております。	今後、より良い環境作りの為教材や備品の整理、清掃と衛生管理を徹底してまいります。 感染症対策として、職員及び利用児童のマスクの着用を徹底しております。
業務改善	5		7		リフレクシオン会議にて改善すべき点の検討・実施プラン・担当への割り振り・進捗確認等をおこなっています。	引き続き、PDCAサイクルに則り業務改善をすすめてまいります。 期日の厳守、それに伴う業務の進行計画を各職員が工夫しておこなっております。会議に参加できなかった職員は、管理者から個別に決定事項等を伝えております。
	6		7		アンケートによる評価の実施、保護者様の意見をもとに改善に繋がっています。	引き続き、保護者様の意見を伺い業務改善や施設改善等をおこなっております。 児童が楽しく遊び、保護者様にも満足いただける事業所を引き続き目指してまいります。
	7		7		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	8		7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9		7		職員のスキルアップの為、定期的に事業所内研修を実施しています。参加できなかった職員には後日内容を伝えていきます。	事業所内で様々な課題について、職員一人一人が意識を持って関わるよう、定期的に内部研修を実施しております。 研修分野も虐待防止や感染症対策の他、支援スキルの向上のためケース検討等も積極的に進めてまいります。
	10		7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。 また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	小さな変化や成長を見逃すことなく支援計画に反映できるよう、職員の意識を上げる工夫をしております。今後も継続して適切なアセスメントに勤め、確かな情報収集をおこなってまいります。
	11		7		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しています。 保護者様のニーズや児童に必要な支援を確認しています。	今後もアセスメントツールを活用し、保護者様のニーズの把握や児童の情報収集に努めてまいります。
	12		7		保護者様と本人のニーズを汲み取り支援計画を作成しています その内容はわかりやすく具体的に表示しています。期間に定めなく必要に応じて個別支援計画書の見直しをおこなっております。	引き続き、基本的なガイドラインを遵守し、適切な支援をおこなってまいります。
	13		7		支援計画の内容を職員で共有し、共通認識を図りながら計画に沿った支援を実施しています。	引き続き、個別支援に沿って支援を行い、職員間で情報共有と認識一致の取組を進めてまいります。
	14		7		職員間で話し合い、プログラムの立案と実施を行っています。	職員間の話し合いの場を増やし、より良い活動プログラムの立案を目指してまいります。 必要に応じて学習だけでなく、身近な危険や災害への注意喚起など、生活に関わるプログラムも実施してまいります。
	15		7		保護者様と本人のニーズを取り入れ、固定化しない様工夫をしています。	新しい教材の作成、使い方の工夫、成果の見られた療育について職員間で共有し、固定化を回避するよう工夫をしております。 また、季節行事や変化のある活動も計画してまいります。
	16		7		個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しています。	引き続き、児童の特性や課題に合ったプログラムを検討してまいります。 集団活動の際は、密にならないよう配慮しながら実施してまいります。
	17		6	1	職員体制上、全職員でのミーティングの実施は難しいため、工夫をミーティングと同等の確約ができるようにしています。	ミーティングノートを活用し、毎朝職員各自で当日の予定や療育内容を確認しております。 また、職員間の連絡事項もミーティングノートを利用し、伝達漏れのないようにしております。 新規入職の職員へはミーティングノートの活用について細かく説明してまいります。
	18		6	1	職員体制上、全職員でのミーティングの実施は難しいため、工夫をし、ミーティングと同等の支援や当日の振り返りを実施しています。	その日に気づいたことなどは職員間で共有できるようにしておりますが、ミーティングとして報告・記録ができるような時間の工夫をしております。 また、全体周知の必要な内容についてはミーティングノートだけではなく、掲示板等を設置し情報適度に漏れのないよう工夫してまいります。
19		7		日々記録をし、変化のあった内容を職員間で共有しています。	引き続き正しい記録の作成と活用を続けてまいります。 記録には主観を入れず、次回の支援に繋がるような記載を心がけてまいります。 未記入箇所のチェックを徹底しております。	
20		7		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	引き続き、保護者様の意向を汲み取り、必要に応じて時期に拘らず計画書の見直しをおこなってまいります。	
関係機関や保護者との連携	21		7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当会議に参画しております。	感染症等への十分な配慮を行いながら、児童管その他最も適した職員が参加できるよう努めてまいります。 会議の内容に応じて、上長と相談し、複数の職員で参加することも検討しております。
	22		6	1	ケースワーカーや相談支援員と電話連絡等で連携をおこなっています。	引き続き、個人情報に留意しながら連携してまいります。 事業所からの問題提起、情報発信も積極的におこない、より良い支援に繋がってまいります。
	23		7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24		7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25		7		保護者様の理解のもと、必要に応じて適切に行っております。	引き続き、個人情報に留意しながらおこなってまいります。 情報共有、共通理解に努め、丁寧に前向きな対応をおこなってまいります。
	26		7		保護者様の理解のもと、必要に応じて適切におこなっております。	引き続き、個人情報に留意しながらおこなってまいります。 スムーズに次のステップに進めるよう、丁寧に実施してまいります。
	27		6	1	児童の療育に際して必要に応じて電話連絡にて情報の共有や助言を受けるなどしています。	コロナ感染症が蔓延している現状では外部研修への参加は難しいと考えますが、現在はZOOM研修等も開かれている為、活用しながら、助言や情報共有をおこなっております。
	28		7		プライバシーの問題と感染症へのリスクを考慮し、現状では機会を設けておりません。	コロナ感染症が蔓延している現状では、他施設との交流機会を設けることは難しいと考えておりますが、状況が改善されれば検討してまいります。 敷地内の共有図書室等も活用方法を検討してまいります。
	29		7		参加していません。	コロナ感染症が蔓延している現状では難しいと考えますが、情報収集、地域課題の発見、横の繋がりを、等の観点から、社会情勢等を考慮しながら検討してまいります。
	30		7		連絡帳や電話連絡、必要に応じて面談やご家庭への訪問で助言・支援をおこなっています。	引き続き、保護者様との意思疎通、共通理解、信頼関係の構築に努めてまいります。
保護者への説明責任等	31		2	5	プログラムの実施はしていませんが、保護者様の抱える悩みや問題に対して真摯に対応しております。	日々の課題等については連絡帳や面談にて対応し、保護者様の悩みと解決の一助となるよう、必要に応じて関係機関と連携するよう支援も行ってまいります。 今後も丁寧な保護者様のお話を傾聴し、一緒に解決を図ってまいります。 今後家族支援プログラムの実施にむけて研修等を経て準備を進めてまいります。
	32		7		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっております。 特に教材費等費用に関わる事については保護者様の不安とならないようお伝えしてまいります。 また契約の際の読み合わせは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めてまいります。	引き続き、丁寧な説明を心がけてまいります。 職員間で共有し、解決に努めてまいります。 ご質問受付書を活用し、職員間で振り返りをおこない、解決に向けて必要であれば関係機関と連携し取り組んでまいります。
	33		7		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しています。 保護者様へは支援計画の内容を示す中でわかりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。	保護者様の意向を汲み、ご説明に際しては専門用語を避けて分かりやすく行ってまいります。 引き続き丁寧な説明を心掛けてまいります。
	34		7		日々の連絡帳でのやりとり、送迎時や必要に応じて面談等で助言と支援をおこなっています。	引き続き、丁寧なやりとりを心がけてまいります。 また、事前にご連絡を取り事業所やご自宅にて面談の日程を調整してまいります。
	35		7		現在、保護者会等は実施しておりません。	保護者会を望まれない方やお仕事をされておられる方も多く、コロナ感染症の蔓延により現在は保護者会の開催を予定しておりません。 必要に応じて個別面談をおこなうなど、保護者様の声に寄り添った支援をおこなってまいります。 また、ご要望があれば保護者会の企画・検討をおこなってまいります。
	36		7		現在までに重大な苦情をお受けすることはございませんが、事業所での食事提供はしておこなわないため指示書は頂いておりません。	保護者様からの相談や申し入れ等については、職員間で共有し、解決に努めてまいります。 苦情受付報告書を活用し、職員間で振り返りをおこない、解決に向けて必要であれば関係機関と連携し取り組んでまいります。
	37		7		公式Webサイトや季刊の「コンパス便り」、また毎月の「事業所便り」にて情報発信をおこなっております。	今後も公式Webサイトや広報誌での活動報告は継続してまいります。 毎月の事業所便りでは防災訓練や季節の行事など楽しい話題もたくさん載せてまいります。
	38		7		十分に配慮し、プライバシーに関わる書類は鍵付き書庫にて保管しております。 必要があれば保護者様への説明と同意を頂いています。	引き続き、個人情報には十分に留意してまいります。 写真や動画の取り扱いにつきましては、最新の注意を図り管理を徹底してまいります。
	39		7		日々の連絡帳や送迎時、必要に応じて電話対応にて保護者様との意思の疎通を図っています。	引き続き、保護者様との情報共有をおこなってまいります。 児童の特性に配慮した情報伝達と意思疎通の手段を選択してまいります。
	40		7		プライバシーの問題と感染症へのリスクを考慮し、現状では難しいと考えます。	自治会主催の消防訓練等は職員が参加し、地域住民とのコミュニケーションを図るよう努めてまいります。 今後、保護者様の意向を伺いながら、地域のイベントへ児童と一緒に参加する等も検討してまいります。
非常時等の対応	41		7		各マニュアルは事業所入り口に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。 防災訓練は今年度4回実施予定です。	防災訓練の様子や避難マニュアル・感染症対応マニュアルを入口に設置し、また保護者様へお便り等で防災訓練の様子をお知らせするなど周知しております。
	42		7		今年度は4回の防災・避難訓練を実施する予定です。	風水害、不審者、火災、大規模災害を想定した防災訓練を実施し、その内容を保護者様へ周知してまいります。 日々の療育でも、防災に関わる課題を取り入れ、有事にも児童が身の危険を察知し回避行動がとれるよう支援してまいります。
	43		7		事前にアセスメントシートを基に確認をし、職員全員に周知しています。	一覧表の作成、99カードの定期的な見直しをおこない、事故のないよう十分に注意してまいります。 職員全員が安全への意識付けができるよう注意喚起してまいります。
	44		5	2	事前にアセスメントシートを基に確認をしておりますが、事業所内での食事提供はしておこなわないため指示書は頂いておりません。	事故のないよう、まずは十分に注意してまいります。 飲食の提供はありませんが、アレルギー等については職員全員に周知し、安全に配慮してまいります。
	45		7		毎月のリフレクシオン会議にてヒヤリハット事例を検討しております。	毎月のリフレクシオン会議にてヒヤリハットの検討をおこない、事例を記録していくことで、見逃されていた危険箇所が改善されてきております。 また、会議に参加していない職員にも周知できるようヒヤリハット報告書を随時回収してまいります。
	46		7		事業所内にて虐待防止研修を実施し、全職員で討議をおこなっております。	コロナ感染症の蔓延により外部研修への参加が難しい現状ですが、事業所内にて虐待防止研修を実施するとともに、職員全体の共通理解と意識付けのため、日々の支援について随時振り返りをおこなっております。 行政から発信された虐待等に関する資料を職員全員で閲覧し、周知しております。
	47		7		現在実施されている。利用契約書には、必要事項の禁止を記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るように業務付られています。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、まずは沈静化できるよう、いろいろなパターンに合わせた声かけや、気分の切り替えを促すよう努めてまいります。 但し、緊急と認められる「部屋からの飛び出し」「自傷行為」「他児童へ危害を加える可能性がある」など、児童の命に関わる事象が起きた場合には限り、やむを得ず強制的に状態を移動させるなどは、保護者様に十分説明をおこない、同意を得て、個別支援計画に記載してまいります。